

# 令和3年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立日出谷小学校

## はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

## <全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

### 1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

### 3 調査実施日

令和3年5月27日(木)

#### 4 調査の内容

|                     |  |   |
|---------------------|--|---|
| (国語、算数)<br>教科に関する調査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校調査は、国語及び算数とする。</li> <li>・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等</li> <li>② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容</li> </ul> </li> <li>・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。</li> </ul> |   |
|                     | 【小学校 国語・算数 各45分】   |   |
| 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 | 児童生徒に対する調査   | 学校に対する調査  |
|                     | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など<br><br><b>【20分程度】</b>   | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など |

### 本校の調査結果の概況

#### 小学校

＜教科に関する調査＞   は全国平均正答率を上回ったもの



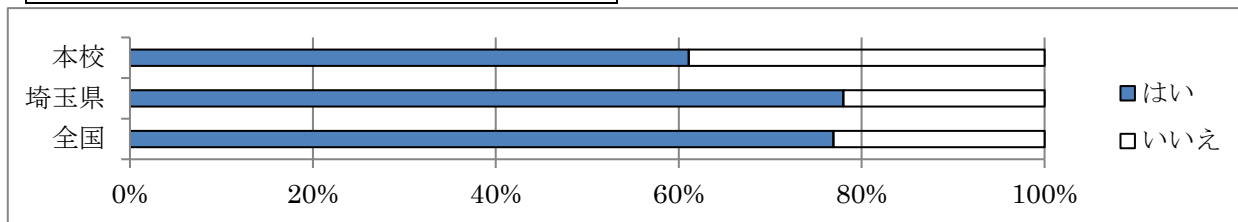
| 国語              |     |             |            |             |
|-----------------|-----|-------------|------------|-------------|
| 学習指導要領の領域等      | 設問数 | 本校平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 話すこと・聞くこと       | 3   | 75.5        | 77.5       | 77.8        |
| 書くこと            | 2   | 64.6        | 61.6       | 60.7        |
| 読むこと            | 3   | 44.9        | 46.8       | 47.2        |
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 6   | 66.4        | 68.9       | 68.3        |

| 算数        |     |             |            |             |
|-----------|-----|-------------|------------|-------------|
| 学習指導要領の領域 | 設問数 | 本校平均正答率 (%) | 県平均正答率 (%) | 全国平均正答率 (%) |
| 数と計算      | 4   | 64.2        | 61.2       | 63.1        |
| 図形        | 3   | 47.2        | 54.8       | 57.9        |
| 測定        | 3   | 73.1        | 72.5       | 74.8        |
| 変化と関係     | 3   | 73.6        | 75.8       | 75.9        |
| データの活用    | 5   | 71.1        | 76.2       | 76.0        |

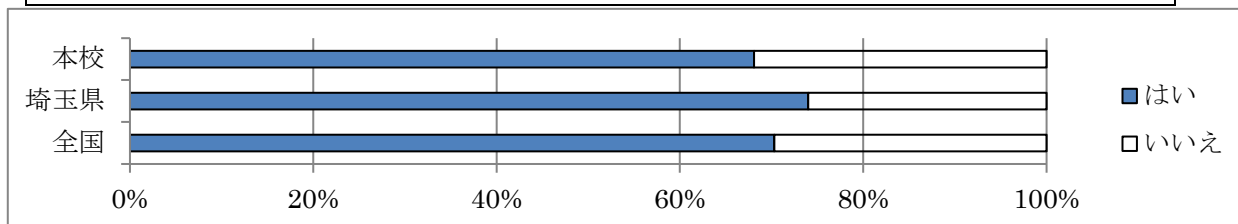
＜児童への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

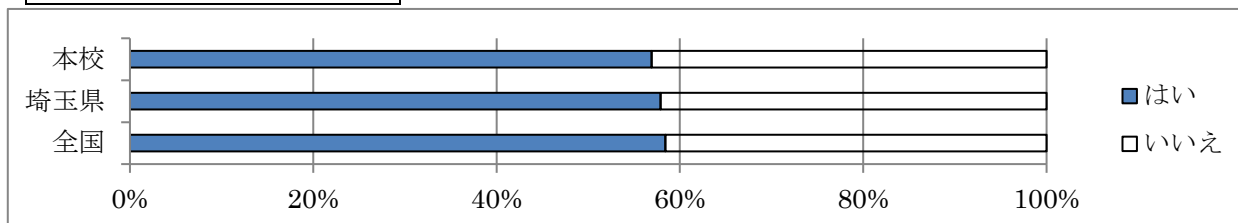
自分には良いところがあると思いますか。



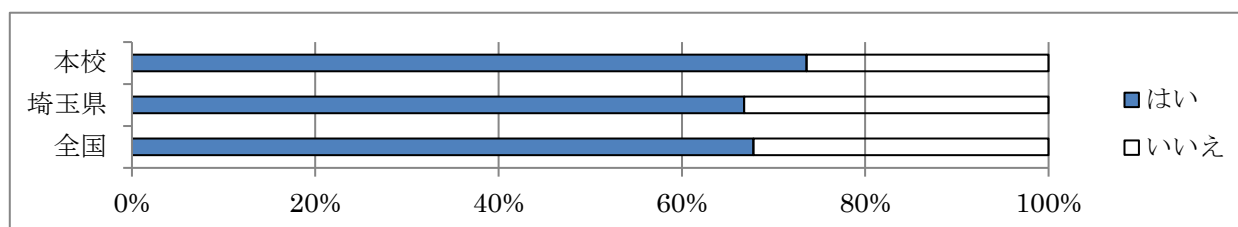
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



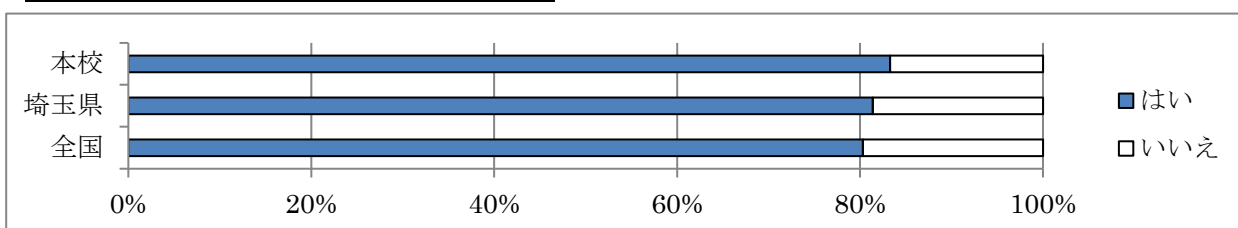
国語の勉強は好きですか。



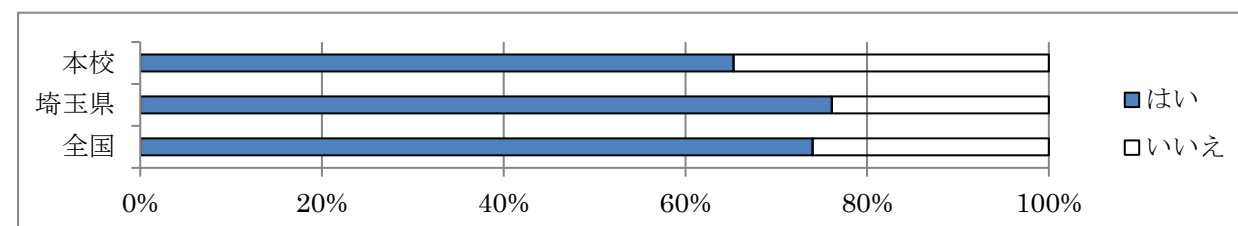
算数の勉強は好きですか。



将来の夢や目標を持っていますか。

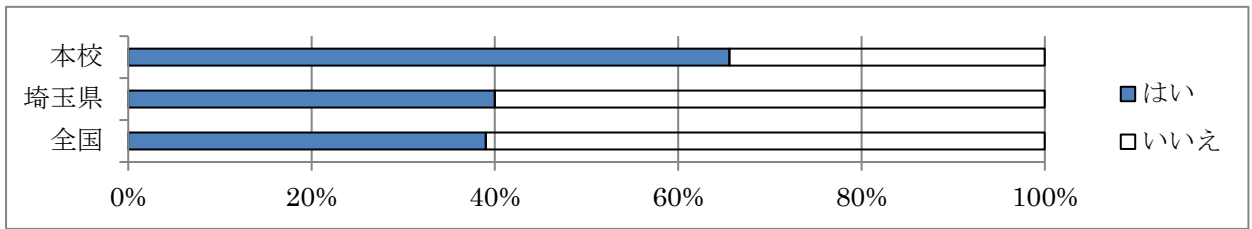


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

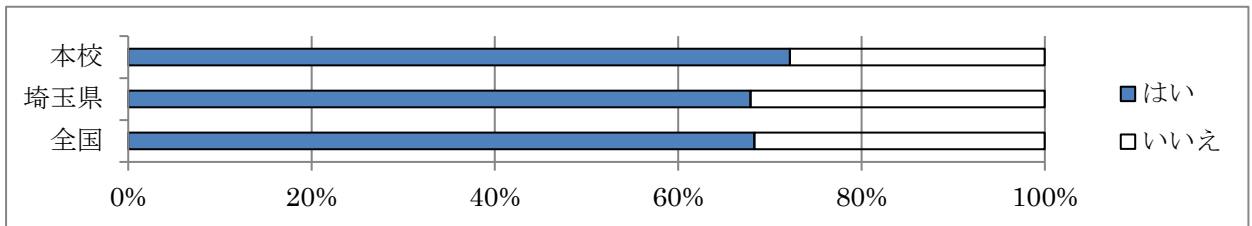


あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

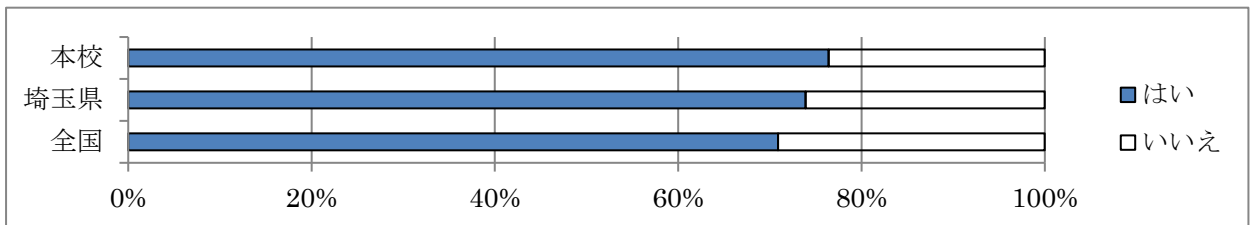
〈「ほぼ毎日」「週1回以上」と答えた児童の割合〉



英語の勉強は好きですか。



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



# 本校の調査結果の分析・考察

## <国語>

「書くこと」では全国平均・県平均を上回りましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国平均・県平均を下回り、課題となっています。

問題形式に関わらず正答率が低く、特に記述式の問題では無解答率が高くなっています。また、自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることは比較的できていますが、難易度が上がるにつれ全国・埼玉県の平均との差が大きくなっています。文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することや、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことにも課題があります。

2

相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】

### 面ファスナー

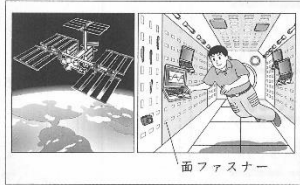
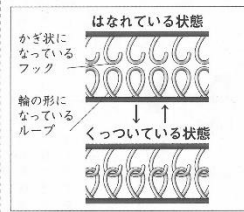
面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくつつけたり、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかき状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造、販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をあてる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として通っていたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていきました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが通っていたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動ぐつでした。ひもぐつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

また、しっかりとくつつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中は無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプレー、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっているのです。一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げてきました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。



国際宇宙ステーションとその内部



一 相川さんが読んだ【資料】の文章は、何について、どのように書かれていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 面ファスナーの開発と広がりについて、時間の経過にそって書かれている。
- 2 面ファスナーの長所と短所について、それぞれの事例が交互に書かれている。
- 3 面ファスナーの長所と短所について、一つの事例が取り上げられて書かれている。
- 4 面ファスナーの開発と広がりについて、筆者の問いとその答えがくり返し書かれている。

**【正答】** 1と解答しているもの

(正答率：全国77.6% 埼玉県76.9% 本校69.4%)

**【分析と改善策】**

この問題では、資料の分掌が、面ファスナーの開発された経緯と活用の場が広がったことについて、時間の経過に沿って書かれていることを捉える必要があります。

「2」と解答しているものは、面ファスナーについて複数の事例を取り上げて書かれていることを捉えることはできているが、それらが、何について書かれているかを捉えることができていないと考えられます。

「3」と解答しているものは、何について、どのように書かれているかを捉えることができていないと考えられます。

「4」と解答しているものは、何について書かれているかを捉えることはできているが、どのように書かれているかについて捉えることができていないと考えられます。

このような問題では、文章と図を結び付けて読んだりすることが求められます。思考に関わる語句などに注意して、話や文章の中で使うことができるように意識しながら読めるように学習活動および授業改善を行っていきます。

## <算 数>

「数と計算」の領域以外で全国平均を下回っています。図形の領域では三角形の面積の求め方についての理解が十分ではない児童が多いです。複数の図形を組み合わせた平行四辺形については図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することに課題があります。

また、データを二次元の表に分類整理するような内容に課題があります。一方、二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述するような内容についてはよく理解しています。問題形式に関わらず正答率が低いですが、特に記述式の問題では無解答率が高くなってしまっています。

2

図1のような直角三角形があります。

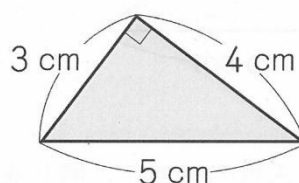


図1

(1) 図1の直角三角形の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。

求める式と答えを書きましょう。

**【正答】** (式)  $3 \times 4 \div 2$  と立式し、6 と解答しているもの

(正答率：全国55.1% 埼玉県48.7% 本校40.3%)

### 【分析と改善策】

本校児童の誤答としては、式を  $3 \times 4 \times 5$  としてしまった児童が 34.7% と一番多くなっています。そういった児童については、水平な辺を底辺としており、三角形の底辺や高さの関係について理解することができておらず、三角形の面積を求める公式を適切に用いることもできていないと考えられます。

続いて多かった解答は、 $3 \times 4$  で、9.7%の児童が該当します。底辺と高さを捉えることはできているが、三角形の面積を求める公式を適切に用いることはできていないと考えられます。

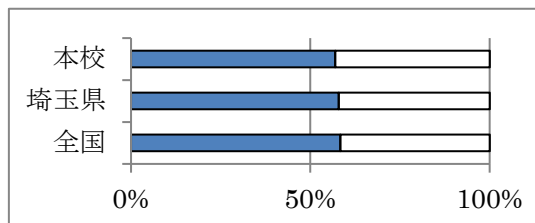
こういった児童に対しては、三角形や平行四辺形の底辺と高さの関係の理解を確実にし、図形を構成する要素などに着目して、求積のためにどの部分の長さを測る必要があるかを考えることで、基本図形の面積を求める公式の理解を深め、活用できるようにすることが大切です。また、図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に考察したり、図形を構成する要素などに着目して捉え、求め方を筋道を立てて考えたりすることができるように学習を展開していきます。

## ＜質問紙調査から＞

### 【質問43】

国語の勉強は好きですか。

〈「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合〉

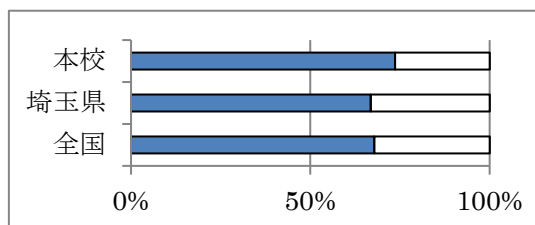


R3 全国 58.4% 埼玉県 57.9% 本校 56.9%

### 【質問52】

算数の勉強は好きですか。

〈「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合〉



R3 全国 67.8% 埼玉県 66.8% 本校 73.6%

国語の勉強が好きと回答した児童の割合は、わずかに全国や県の平均を下回っています。対して、算数の勉強が好きと回答した児童の割合は、全国や県の平均を大きく回っています。

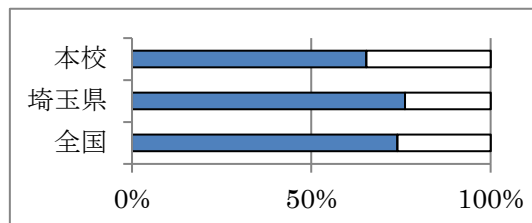
要因として考えられることとして、まず国語では、文章問題や記述への苦手意識が強いこと、算数では少人数指導による基礎・基本の充実により算数への自信の高まりが考えられます。

国語に関しても、活動の振り返りから授業改善につなげたり、読書活動を推進したりするなど、算数同様に活動の楽しさを実感できるようにしていきます。

### 【質問17】

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

〈「よくしている」「ときどきしている」と答えた児童の割合〉



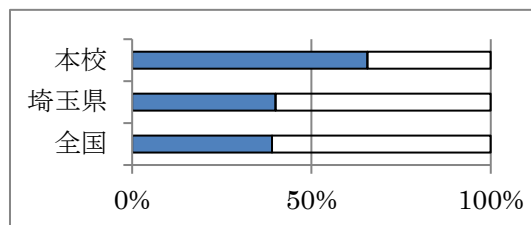
R3 全国 74.0% 埼玉県 76.1% 本校 65.3%

家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合は全国や県の平均を下回っています。学校と家庭が連携して家庭学習・自主学習の取組を充実させ、本校の目指す児童像である「自ら学ぶ子」を育てることで学力の向上につなげていきます。

### 【質問27】

あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

〈「ほぼ毎日」「週1回以上」と答えた児童の割合〉



R3 全国 39.0% 埼玉県 40.0% 本校 65.6%

コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している児童の割合は、全国や県の平均を大きく上回っています。

全ての教師がタブレット端末を授業で活用をし、教育活動全体を通して情報活用能力の育成を推進しています。



# ＜埼玉県学力・学習状況調査の概要＞

※「令和3年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

## 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

## 2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

## 3 調査実施日

令和3年5月12日（水）

## 4 調査の内容

### （1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

### （2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 本校の調査結果の概況

＜教科に関する調査＞   は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

| 国語              | 第4学年 |         |         | 第5学年 |         |         | 第6学年 |         |         |
|-----------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|                 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 言葉の特徴や使い方       | 12   | 70.9    | 71.6    | 13   | 56.6    | 58.0    | 14   | 59.3    | 61.6    |
| 情報の扱い方、我が国の言語文化 | 5    | 70.5    | 67.9    | 4    | 58.2    | 60.1    | 3    | 68.5    | 72.7    |
| 話すこと・聞くこと・書くこと  | 5    | 27.4    | 29.3    | 4    | 34.6    | 40.6    | 4    | 40.1    | 43.9    |
| 読むこと            | 4    | 39.1    | 41.1    | 9    | 61.0    | 60.3    | 9    | 51.4    | 55.8    |
| ※学力の伸びた児童の割合    |      |         |         |      | ↑↑↑↑↑   | ↑↑↑↑    |      | ↑↑↑     | ↑↑↑↑    |

| 算数           | 第4学年 |         |         | 第5学年 |         |         | 第6学年 |         |         |
|--------------|------|---------|---------|------|---------|---------|------|---------|---------|
|              | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 | 設問数  | 本校平均正答率 | 県の平均正答率 |
| 数と計算         | 12   | 75.2    | 72.2    | 13   | 59.7    | 65.0    | 12   | 61.0    | 63.1    |
| 図形           | 6    | 62.9    | 58.3    | 6    | 50.7    | 60.4    | 7    | 65.0    | 62.3    |
| 測定           | 6    | 76.3    | 71.6    | 7    | 53.5    | 61.2    | 6    | 63.0    | 64.2    |
| データの活用       | 6    | 79.4    | 75.2    | 6    | 50.5    | 56.1    | 7    | 53.2    | 53.1    |
| ※学力の伸びた児童の割合 |      |         |         |      | ↑↑↑↑    | ↑↑↑↑↑   |      | ↑↑↑↑↑   | ↑↑↑↑↑   |

＜児童への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本校の達成率、下段：県の達成率、          は80%以上 (％)

| 内容                | 項目                 | 第4学年        | 第5学年        | 第6学年        |
|-------------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|
| ○けじめある生活ができる      | 1 時刻を守る            |             |             |             |
|                   | ① 登校時刻             | <b>94.7</b> | <b>92.9</b> | <b>98.6</b> |
|                   |                    | 91.5        | 93.7        | 94.0        |
|                   | ② 授業の開始時刻          | <b>84.2</b> | <b>95.7</b> | <b>91.8</b> |
|                   |                    | 90.5        | 93.2        | 94.8        |
|                   | 2 身の回りの整理整頓をする     |             |             |             |
|                   | ③ 靴そろえ             | <b>80.3</b> | <b>87.1</b> | <b>80.8</b> |
|                   |                    | 83.3        | 83.6        | 86.8        |
| ④ 整理整頓            | <b>75.0</b>        | <b>84.3</b> | <b>83.6</b> |             |
|                   | 78.8               | 80.2        | 78.8        |             |
| ○礼儀正しく人と接することができる | 3 進んであいさつや返事をする    |             |             |             |
|                   | ⑤ あいさつ             | <b>77.6</b> | <b>87.1</b> | <b>80.8</b> |
|                   |                    | 78.5        | 78.2        | 78.0        |
|                   | ⑥ 返事               | <b>89.5</b> | <b>95.7</b> | <b>87.7</b> |
|                   |                    | 87.5        | 87.9        | 86.4        |
|                   | 4 ていねいな言葉づかいを身に付ける |             |             |             |
|                   | ⑦ ていねいな言葉づかい       | <b>84.2</b> | <b>94.3</b> | <b>82.2</b> |
|                   |                    | 86.0        | 86.7        | 88.0        |
| ⑧ やさしい言葉づかい       | <b>92.1</b>        | <b>94.3</b> | <b>80.8</b> |             |
|                   | 84.6               | 84.6        | 84.1        |             |
| ○約束やきまりを守ることができる  | 5 学習のきまりを守る        |             |             |             |
|                   | ⑨ 学習準備             | <b>81.6</b> | <b>94.3</b> | <b>89.0</b> |
|                   |                    | 84.1        | 85.9        | 86.6        |
|                   | ⑩ 話を聞き発表する         | <b>73.7</b> | <b>75.7</b> | <b>68.5</b> |
|                   |                    | 76.4        | 76.0        | 72.7        |
|                   | 6 生活のきまりを守る        |             |             |             |
|                   | ⑪ 集団の場での態度         | <b>89.5</b> | <b>94.3</b> | <b>76.7</b> |
|                   |                    | 83.5        | 83.7        | 83.9        |
| ⑫ 掃除・美化活動         | <b>90.8</b>        | <b>92.9</b> | <b>82.2</b> |             |
|                   | 91.1               | 88.7        | 87.4        |             |

## 本校の学力向上の取組

### 授業における取組

#### ☆1 教師一人一人が、よい授業づくりを行います

- (1) 「なぜ」、「どうして」が生まれる授業づくりをします。
- (2) 「学ぶ喜び」が味わえる授業づくりをします。
- (3) 「わかるようになる」「できるようになる」授業づくりをします。

#### ■2 基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指した学習の推進

- (1) 一人一人に応じた個別指導や少人数指導、チームティーチングなどに取り組みます。
- (2) 単元開始前にレディネステスト等を実施し、児童の理解度を確認します。
- (3) ワークシート等を用いた単元ごとの習熟度・到達度の確認をします。

### 授業以外の取組

#### ☆1 学習習慣の定着に向けた取組

- (1) 児童自らが学習の見通しをもって、振り返りを行う学習習慣を身につけるために家庭と連携した自主学習（家庭学習）をより一層充実させます。

- ・学習環境を整え、学習の習慣をつけましょう。
- ・自分から計画的に取り組みましょう。（学年×10分+10分）

#### ■2 ICTの活用の推進

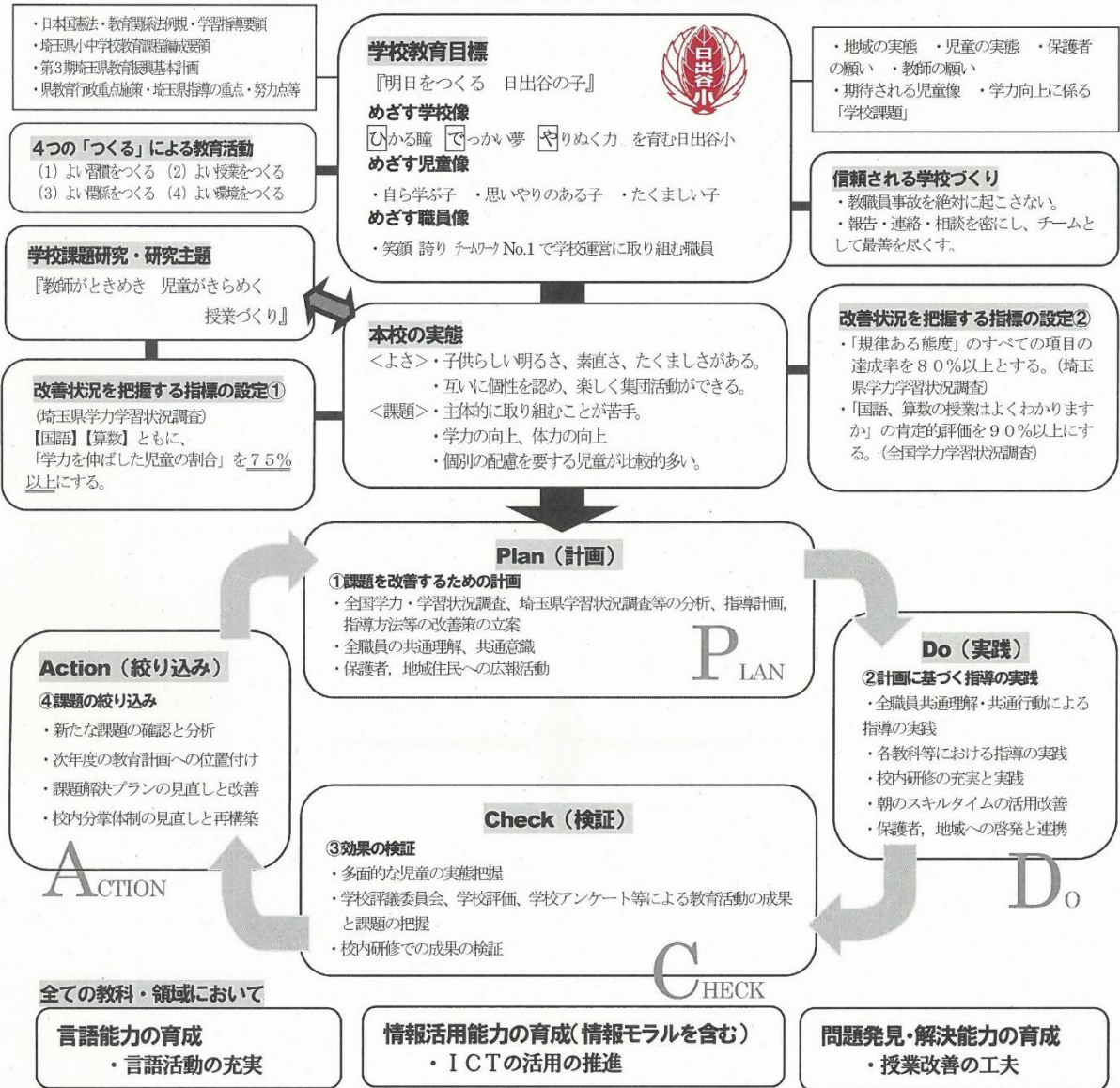
- (1) タブレット端末（ICT）の有効活用を図ります。情報活用能力を育成するとともに情報モラルについても指導していきます。

#### ■3 読書活動の充実

- (1) 本の世界（朝読書）では、全校一斉で読書をしたり、図書ボランティアさんによる読み聞かせを行ったりすることにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得につながる読書習慣の確立や読書力・情報活用能力の育成を図ります。

# 本校の学力向上プラン

## 令和3年度 桶川市立日出谷小学校 学力向上全体計画



### 改善の観点(具体的な取組)

| 改善の観点         | I  | II   | III   | IV  | V   | VI  |
|---------------|--|--|---|---|---|---|
| 取組の基本方針       | 基礎・基本の確実な定着を図る。少人数指導等を活用し、個に応じた指導を展開する。体験的な活動を増やす。                                     | 日出谷小の実態に合った特色ある教育課程を編成し、教師の授業力を高め、学力の向上を目指す。   | 「生きる力」を身につけるため、新学習指導要領に関する研修を実施し、年間指導計画等を計画的に実施する。                              | 児童一人一人が意欲をもって取り組み、子供たちのよさを伸ばすことができるように指導と評価の一体化を図る。                                 | 研究テーマを定めるため、全教職員で共通理解を図り、授業実践を通して研究を深め、教師一人一人の授業力を高める。                | 家庭や地域と連携し、学習規律、基本的な生活習慣等を身に付けさせる。   |
| 課題解決のための具体的取組 | ・基礎学力定着を図るスキルタイムを設定<br>・児童の実態や単元の特性に応じた少人数指導の工夫<br>・本の世界 読書の時間の充実<br>・各教科における授業の進め方の確立 | ・各教科、各学年間の系統的、発掘的指導の工夫<br>・単元の定着期間の工夫<br>・構造的学習、問題解決学習の計画など位置づけ<br>・放課後の授業準備時間の確保と教師研の充実 | ・年間指導計画の見直しと改善<br>・教材の作成と工夫<br>・言語活動の充実を図る指導計画の作成と実施<br>・情報の選択、活用方法や情報モラルの指導の工夫 | ・学習のねらいの明確化<br>・単元テスト、ワーク、プリント等の工夫と実施<br>・評価、評定の標準や手立ての工夫<br>・自己評価、相互評価など評価方法の工夫と改善 | ・PDAサイクルを意識した研修計画の立案<br>・研究協議の徹底工夫<br>・校内授業研究会の実施<br>・市教育委員会等関係機関との連携 | ・学校は読書の活用<br>・「日出谷小よいのやくそく」の徹底<br>・「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の啓発と学習習慣の定着<br>・生活習慣の改善を図る家庭教育の啓発 |
| 関連する行事等       | ・スキルタイム<br>・本の世界<br>・課題研究評議委員会<br>・授業研究会   | ・校内研修<br>・企画委員会  | ・校内研修<br>・企画委員会<br>・教務研究部会  | ・校内研修<br>・通知連絡委員会   | ・校内授業研究会<br>・県・市教委、学校間で授業公開、授業研究<br>・市教務委員研究会                         | ・学校は読書の活用<br>・授業参観 懇談会<br>・PTA総会<br>・個人面談   |

## 保護者・地域の皆様へ

日頃から日出谷小学校の教育活動に、ご支援、ご協力いただきありがとうございます。  
本校の児童は、毎日明るく、元気に学校生活を送っています。その中で児童の良さをさらに伸ばすために学力向上に取り組んでいます。学力向上は学校だけでなく、家庭・地域の連携のもと学んだことを確認したり、生かしたりする場が確保されることで実現します。そのため、学校から発信する各種のお手紙や課題として取り組んだものに目を通していただき、学習内容をお子さんと確認していただくと助かります。これからも本校の教育活動にご理解いただき、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### ☆家庭生活において

- ① 規則正しい生活習慣を身に付けさせましょう。
  - ・早ね、早起き、朝ごはん
  - ・時間の使い方（ゲーム・テレビ等）を家庭でのルールとして決めてください。
- ② 家庭学習に取り組ませましょう。
  - ・学年×10分＋10分を目安にしましょう。  
（例：2年生は30分、4年生は50分、6年生は70分）
- ③ 持ち物を準備させましょう。（忘れ物をなくしましょう。）
  - ・授業で必要なものをしっかり用意することが学習の一步です。忘れ物をなくすために家庭で声かけをよろしくお願いいたします。